

公益社団法人 福岡県理学療法士会

平成 30 年度 第 4 回理事会議事録

日 時：平成 30 年 10 月 27 日（土）15：00～18：00

場 所：麻生リハビリテーション大学校

出席者：（理事）西浦、永友、諫武、永野、廣滋、音地、佐藤、高橋、久保田、熊谷、松崎、時吉、今村

岩佐、山内、福田、

（監事）森田

（事務員）中山、長田

（欠席）近藤、宇戸、久原、遠藤、日野

（書記）平原、池田

議長は、西浦会長がつとめ、永友副会長が議事録に署名することを確認した。

【審議事項】

【事務局】

【公益事業 2 理学療法の知識・技術の普及・啓発を行う事業】

[組織部]

1. メンタルヘルスアンケート調査（別紙：①②）

平成 30 年度 1 月に実施予定にてアンケートについて

⇒回答方法は、アプリから回答できるように検討中。（一時保存機能付き）

永野理事より説明

ワークライフバランス部でメンタルヘルスの件をアンケート調査するには事前に先行研究の論文や各厚労省の実態を調査した上で実施したい点と過去にとったデータを踏まえた質問用紙を作成している。高橋社会局長や廣滋学術局長にもアンケートを確認していただいている。

→承認

【法人事業】

[総務部]

1. 共催・協賛・後援規程作成について（別紙：③）

福岡県理学療法士会として今後要請が来ることが予想される共催・協賛・後援規程について取り決めがなかったため規程の作成を行った。規程運用について許可を頂きたい。（前回理事会継続審議）

諫武理事より説明

廣滋学術局長：共催と協賛の第 2 条は共催と協賛金の話になるのではないかと。

諫武理事：文言の変更を行う。

熊谷理事：製薬会社主催のセミナー等をイメージしていたが、第 3 条の 2 の（2）に文章があるが業者が宣伝

したいといってきた場合はどうするのか。

諫武理事：指摘のとおりである。

永友副会長：今までは公益性の問題より行っていなかった。あくまでも県士会が主体となって業者と協同で研修会を行うのは問題ないとする。

諫武理事：代議員総会の話ではニーズがあるという話であり、今後体制を作ると報告した。

諫武理事：一番目の文章を削除する。

永野理事：一緒に協賛をして行った場合、収益を上げてよいのか。

永友副会長：こちらが主体ではないため、よいとする。

諫武理事：県士会が主催の場合と企業が主催の場合の2パターンを考えていた。

永友副会長：今までは企業に対しては協賛も後援もしないという考えであった。

諫武理事：収益を上げることは基本的には考えていなかった。

永野理事：収益を上げることを目的としていけば良くないとする。

西浦会長：基本は公益法人として問題なければよいとする。規程を細かく決めるのはどうか。

久保田理事：後援を行うか行わないかという考えではないのか。

諫武理事：1つの規程で両方行えないかと考えていた。

久保田理事：協賛をしてもらう話ではないのか。

廣滋学術局長：分けて規定した方が分かりやすい。

諫武理事：それでは前回理事会で提出した規程を採用し、ニーズがある場合に理事会審議または三役で決定する方向でよいのではないかと。

廣滋学術局長：北九州での学会は共催を依頼した。

山内理事：特定の企業に行うときの規約はどうなるのか。公益事業でポイントが発生する場合もよいのか。

諫武理事：協賛依頼があったときの申込書も作成する。

森田監事：協賛金は規程の中で集めるようにしているのか。

諫武理事：現在は規程の中にはない。

森田監事：協賛金の口数で大きなものや、協賛金を集めたうえで特典が違いメリットを決めたものが多い。

廣滋学術局長：賛助会員という形であるのか。

森田監事：そういうことになる。

廣滋学術局長：賛助会員の取り扱いも協会も行っている。県士会独自で制度を作らない方がよいとする。

森田監事：公益社団法人としては協会とは別組織である。

永友副会長：協賛の中には金銭的、人的、物的なものに分けられる。

森田監事：どこまでのものを受け入れるか。物品について規程を作成するのは困難であるとする。

西浦会長：企業との賛助会員については事務局で検討していただく。会費外収入として、公益法人としては必要であるとする。

諫武理事：金銭面だけでなく試供品や栄養剤などもある。

永友副会長：個別に研修会や学会も含め協賛をされる企業に対して申込書に記載しておくのはどうか。

諫武理事：継続して検討する。

→承認

2. 平成31年度新規事業がある場合

各部署より提出された新規事業に関して、変更届の提出を行います。

(公益法人届け出分類の新規事業がない場合は、審議取り下げ)

諫武理事

→審議取り下げ

3. サテライト研修会の開催検討について (別紙: ④⑤⑥)

県士会会員へのサービス向上を目的とした WEB 会議システムを活用したサテライト研修会についてデモンストレーションを実施しますので実施の可能性について御意見を頂きたい。あわせて WEB 会議システムの利用デモも実施したい。

諫武理事より説明

→審議取り下げ

[組織部]

1. 広報規程改定について (別紙: ⑦)

永野理事より説明

→承認

【学術局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

[学会部]

1. 学会新イベントに関して (新人教育プログラム単位取得対象)

「教育セッション」を新たに追加したい。

テーマ: 「実例から学ぶ臨床研究の進め方・学会発表の基本」

講師: 山内 康太 氏 (製鉄記念八幡病院)

講師推薦理由: 昨年まで県学会で優秀賞を3年連続受賞している製鉄記念八幡病院の山内氏を推薦したい。論文執筆や学会発表などの数多くの実績もあり、新人以外にも聴講希望の会員は多くいると思われるため。

- ・新人教育プログラム D-3 「研究法」単位対象 60分
- ・事前参加登録方法や当日の新人の単位管理について要検討。
- ・協会資料+オリジナルの資料作成予定

音地理事より説明

→承認

2. 第29回 (平成31年度) 福岡県理学療法士学会 学会長公募に関して (別紙: ⑧)

公募にて1名の立候補あり。学会長立候補制度導入初年度ということ、候補者の実績など鑑みて、立候補者をそのまま学会長に推薦という形で審議して頂きたいと考える。

音地理事より説明

→承認

[学術誌編集部]

1. 新企画教育ページ内容

テーマ：学会発表の基本（福岡県理学療法士学会を想定して）

抄録（1200字）の書き方、スライドの作り方（発表時間7分）

執筆者候補1：山内 康太 氏（製鉄記念八幡病院）

専門理学療法士：神経・内部障害

福岡県理学療法士学会受賞歴：第25回優秀賞、第26回優秀賞、第27回優秀賞

執筆者候補2：河上 淳一 氏（九州栄養福祉大学）

認定理学療法士：運動器・スポーツ

福岡県理学療法士学会受賞歴：第23回優秀賞 第24回優秀賞

佐藤理事より説明

松崎地域包括ケア推進局長：これは来年度の発行紙になるのか。

佐藤理事：その通りである。

→承認

[学術研修部]

1. 平成31年度理学療法士講習会について

1) 理学療法士講習会（応用編）企画案1

- ・内部障害系理学療法と予防理学療法を組み合わせ開催。

健康寿命の延伸に向け、内部障害に対する知識を高め、適切な介入が行えると共に、高齢者の介護予防に対する対策を必要とするスキルの習得を目的とする。

また、2分野の講師を1つのテーマにて開催することにより幅広い知識や考え方の習得および生涯学習システムのポイント取得幅拡大による利益

日 時：平成31年9月頃を予定

場 所：未定

定 員：40名

講習会テーマ：「健康寿命の延伸に向けた内部障害の理学療法と予防理学療法」（仮題）

①内部障害系理学療法講師案について（業績・略歴別紙）

第一候補

テーマ：「循環器疾患患者に対する病期に応じたリスク管理と目標設定の考え方」（仮題）

講 師：田畑 稔 氏（豊橋創造大学 保健医療学部 理学療法学科 准教授）

第二候補

テーマ：「呼吸器・循環器疾患の臨床場面での評価とリスクの層別化」（仮題）

講 師：森沢 知之 氏（兵庫医療大学 リハビリテーション学部 理学療法学科 講師）

第三候補

テーマ：「呼吸器・循環器疾患患者のフィジカルアセスメントと治療介入の効果判定
～患者評価口全身状態の観察とバイタルサインの診方～」（仮題）

講 師：木村 雅彦 氏（杏林大学 保健学部 理学療法学科 准教授）

②予防理学療法講師案について（業績・略歴別紙）

第一候補

テーマ：「介護予防のための高齢者の生活機能評価の考え方とその実際」（仮題）

講師：大淵 修一 氏（東京都健康長寿医療センター研究所・在宅療養支援研究部長）

第二候補

テーマ：「高齢者の運動・身体機能特徴と介護予防のための評価と実際」（仮題）

講師：細井 俊希 氏（埼玉医科大学 保健医療学部理学療法学科 専任講師）

第三候補

テーマ：「運動介入による認知症予防の理論と実践方法」（仮題）

講師：牧迫飛雄馬 氏（鹿児島大学医学部保健学科理学療法専攻基礎理学療法講座・教授）

廣滋学術局長より説明

山内理事：ポイントについてはどのようなになっているのか。

松崎地域包括ケア推進局長：ポイント取得可能な講師の確認を行っているのか。

廣滋学術局長：確認済である。

→承認

2) 理学療法士講習会（応用編）企画案2

- ・スポーツ整形と物理療法を組み合わせで開催。

各種スポーツ場面におけるフィジカル評価と治療技術理解および物療機器を併用することによる治療戦略の最前線について学ぶ事を目的とする。また、2分野の講師を1つのテーマにて開催することにより幅広い知識や考え方の習得および生涯学習システムのポイント取得幅拡大による会員のメリットも考えて開催。

日 時：平成31年10月頃を予定

場 所：未定

定 員：40名

講習会テーマ：「スポーツ障害に対する理学療法と物理療法の実際」（仮題）

①物理療法 講師案（業績・略歴別紙）

第一希望

テーマ：「今後のスポーツ分野における理学療法士の役割と物理療法」（仮題）

講師：玉置 龍也 氏（横浜市スポーツ医科学センター リハビリテーション科）

第二候補

テーマ：「超音波療法の基礎と臨床応用」（仮題）

講師：森下 勝行 氏（城西国際大学 福祉総合学部 理学療法学科 助教）

第三候補

テーマ：「疼痛に対する物理療法のエビデンスの活かし方と臨床応用」（仮題）

講師：大矢 暢久 氏（湘南医療大学 リハビリテーション学科 理学療法専攻）

②スポーツ理学療法 講師案（業績・略歴別紙）

第一候補

テーマ：「スポーツ障害のリハビリテーションとリコンディショニング」（仮題）

講師：小林 寛和 氏（日本福祉大学 健康科学部 リハビリテーション学科理学療法専攻）

第二候補

テーマ：「スポーツ障害に対する理学療法 ～グローバルスタンダードの理学療法の展開～」(仮題)

講師：片寄 正樹 氏 (札幌医科大学 保健医療学部 理学療法学科)

第三候補

テーマ：「障害者スポーツと理学療法士の関わり」(仮題)

講師：信太 奈美 氏 (首都大学東京健康福祉学部 理学療法学科 助教)

廣滋学術局長より説明

→承認

2. 平成 31 年度理学療法士講習会 (会員より申請分)

平成 31 年度の理学療法士講習会開催希望が 4 件。(別紙：⑨⑩⑪⑫)。

理学療法士講習会基本編理論：3 件

理学療法士講習会応用編：1 件

合計 4 件の申請希望があった。ご審議いただきたい。

廣滋学術局長より説明

→承認

[教育研修部]

1. 平成 31 年度理学療法士講習会(基本編) 企画案について

コーチングスキルを学び、人材育成や学生教育に携わる際のスキル向上、コミュニケーション能力の向上を図る。また、実際の取り組みについて人材育成の方法を学び、今後につなげる機会とする。

講師をコーチングスキルと人材教育・育成について 2 名の講師で実施する。

日 時：平成 31 年 7 月頃を予定

場 所：未定

定 員：150 名

テーマ：「キャリア・デザインとリカレント教育システム」(仮題)

講師：遊佐 隆 氏 (松戸整形外科病院 副院長、リハビリテーションセンター長)

【略歴】

平成 4 年 西日本リハビリテーション学院卒業

平成 4 年 松戸整形外科病院に入職

平成 8 年 同病院リハビリテーション科副技師長に任命される

平成 10 年 同病院リハビリテーション科長に任命される

平成 16 年 医療法人社団青嶺会松戸整形外科病院 臨床統括部長とリハビリテーション科長の兼務を任命される

平成 24 年 臨床統括部長とリハビリテーションセンター長の兼務を任命される

平成 30 年 副院長とリハビリテーションセンター長の兼務を任命される

【学会・役員】

第 2 回肩の運動機能研究会学会長

第 6 回日本 PNF 協会学術集会学会長

第 12 回千葉県理学療法士学会副会長
第 17 回千葉県理学療法士学会会長
第 33 回関東甲信越ブロック理学療法士学会広報局長

- ・ NPO 法人日本 PNF 協会（JPNFA）理事長
- ・ 千葉県 PNF 勉強会会長
- ・ 日本肩関節理学療法研究会役員
- ・ 千葉上肢を語る会運営委員
- ・ NPO 法人スポーツ&文化振興財団 理事認定専門理学療法士資格

【認定・専門理学療法士】

専門理学療法士：運動器理学療法士

テーマ：「ティーチングスキルとコーチングスキル 実践

～教育の為のモチベーションマインド～」（仮題）

講師：阿毛 裕理 先生

（あもうコンサルティングオフィス 代表／株式会社 AA パートナーズ CEO&Founder／行政書士
AA 法務事務所 パートナー）

【略歴】

2007 年 宮城大学看護学部看護学科卒業

2013 年 行政書士資格取得、翌年あもうコンサルティングオフィスを開設

2015 年 株式会社 AA パートナーズを設立、筆頭株主に就任。同年 行政書士 AA 法務事務所を開設

※食品メーカー、IT 企業、個人診療所、医療法人、訪問看護・介護事業者等の顧問先を持ち、地域保健・医療・医業に特化した経営力・法務対応力サポート事業を展開

廣滋学術局長より説明

→承認

【社会局】

【その他事業 会員の福利厚生に関する事業】

[職能部]

1. 平成 30 年度減点査定調査について（別紙：⑬）

診療報酬改定にあわせ、別紙の内容で減点査定調査を行う予定であるが、郵送ではなくインターネットを使用した方法に変更したい。調査方法は日本理学療法士協会のアンケート調査と同じ『Google Forms』使用する予定。集計にかかる負担軽減や郵送費および会議にかかる経費削減（約 10 万円）が図れる。インターネットでの減点査定調査および社会局職能部のアカウント作成の許可を頂きたい。

高橋社会局長より説明

西浦会長：Web 上の方がアンケートしやすいため、賛成である。

松崎地域包括ケア推進局長：以前、アンケートは同じ時期に実施していたが、今後実施時期はいつでもよいのか。経費の削減と会員の負担も考えるということによいか。

永野理事：『Google Forms』の一番の欠点は一人が何回も返答できるという点である。調査の目的として適しているか業者に依頼している。また、一時保存できない点も検討しなければいけない。作為的なアンケート調査になりかねない点も考慮すべきである。

西浦会長：方法と作業においては組織部で再度検討していただきたい。時期についても事務局で検討していただきたい。

高橋社会局長：施設名の記入はせずに行う。

熊谷理事：アカウントはどうするのか。

高橋社会局長：県士会としてアカウントを作成する方向で検討したい。

→承認

【各委員会】

[50周年記念式典準備委員会]

1. 福岡県理学療法士会創立50周年記念市民公開講座・式典・祝賀会について（別紙：⑭～⑳）

①記念式典・祝賀会進行スケジュールについて

2019年9月7日（土）開催予定の50周年記念式典・祝賀会に関して別紙の進行スケジュールで行いたい。

廣滋実行委員長より説明

廣滋実行委員長：記念式典後に記念講演がある。記念講演は現会長が行う。時間は30分程度である。

高橋社会局長：市民公開講座については年1回であるため、来年度に関しては50周年があるので実施しない方向でよいか。

西浦会長：問題ないと考える。

→承認

②50周年記念祝賀会ステージイベント参加者募集について

50周年記念祝賀会におけるステージイベントを県士会会員へ募集を行いたい。

松崎地域包括ケア推進局長：福岡を感じてもらえるイベントにした方が良いのではないかな。

廣滋実行院長：会員から募集しようと考え提案した。

永野理事：ステージイベントの趣旨を掲載してはどうか。

西浦会長：50周年の式典にふさわしいステージイベントにしていただきたい。

佐藤理事：選考する時に動画を送ってもらうのはどうか。

西浦会長：予算的な問題もあるが、予算をかけてもよいのではないかな。

廣滋実行委員長：予算と意見を含めて再度検討します。

→継続審議

③福岡県理学療法士会新ロゴマーク&キャッチコピー募集について

県士会創立50周年を記念して新ロゴマークおよびキャッチコピーを50周年記念事業として募集を行いたい。

佐藤理事：募集の対象者は一般の公募もあれば良いのではないかな。質の向上につながると考えられる。

永友副会長：ロゴマークは会員の中で選ぶとなると質の問題もある。長く使用するものなので業者も入れてもよいのではないかな。

廣滋実行委員長：賞金は会費であるため、会員限定にしたという経緯もある。

松崎地域包括ケア推進局長：業者依頼の場合10万円以上かかるため、安価であると考えられる。

岩佐支部局長：外部に依頼すると選択方法も検討する必要があるのではないか。

松崎地域包括ケア推進局長：外部が理学療法士をどうみているのかというイメージも含めて作成することは市民に向けてもよいのではないか。

今村理事：審査は誰が行うのか。

廣滋実行委員長：準備委員会で検討したい。

西浦会長：会員で公募したいと考える。50年を迎えて会員が一生懸命考えていただきたいと考える。業者に依頼すれば良いものが出るかもしれないが、理学療法士で決めてほしいという気持ちがある。

永野理事：10個くらい集まった中から5つか3つ選考し、業者できれいな製図したものを最終的に選考するのはどうか。また、ロゴマークは基本的に文字であり、今回の提案の場合シンボルマークを指していると考え。シンボルマークの中に文字は入らない。シンボルマークの中にロゴタイプを挿入すると明記しないと一般で公募した場合に問題が生じると考える。修正を入れる文言を明記する必要がある。

廣滋実行委員長：選考方法はもう一度検討します。

西浦会長：キャッチコピーについては、使用する機会が少なく、時代の流れで変わるため却下でよいと考える。

永友副会長：公募については、一人一つまでと定める必要がある。

西浦会長：キャッチコピーの公募は却下とする。シンボルマークとロゴタイプで一般からも公募を行う。

→承認

④50周年記念誌目次および素材募集の件

50周年記念誌目次を別紙の内容にて発行したい。あわせて掲載する素材募集を行いたい。

西浦会長：写真の件については個人情報保護もあるので確認が必要である。

永野理事：確認したうえで掲載した方がよい。また、使用用途を伝える必要がある。

→承認

⑤50周年記念式典準備組織体制について

50周年記念市民公開講座・式典・祝賀会を開催するにあたり別紙の組織図での運用および体制に関して認めていただきたい。なお、組織図にあわせて役割分担を理事でおこない準備に関わっていただきたい。

廣滋実行委員長より説明

西浦会長：組織図においては協力をお願いしたい。ホームページ上と名刺に50周年というのを入れて広報をしていただきたい。

→承認

[選挙管理委員会]

1. 選挙実施に関して以下の点について審議いただきたい。

- 1) 選挙における立候補者の広報として、動画使用の検討
- 2) 新規メールアドレスフォームの確認
- 3) 選挙広報として福岡県理学療法学会でのブース設営の検討

秋委員長より説明

1)

西浦会長：動画にした場合の予算はどうか。

秋委員長：まだ動画の作成における試算はできていない。

西浦会長：動画は分かりやすいのはよいが、予算を提示していただきたい。動画を観ることができない会員もいると思う。

諫武理事：今回予算の執行が少ない。選挙に関しては、法人事業であり本来、抑えないといけない項目になる。

西浦会長：動画を反対しているわけではないが、理事会としては予算について審議したい。

松崎地域包括ケア推進局長：動作が使用したい理由は？

秋委員長：紙面上や写真では伝わらない部分を補いたい。

早川委員：文字だと候補者の意図が伝わりにくいことがあるため、動画での提案をしたい。

松崎地域包括ケア推進局長：動画時間は30秒なのか。

早川委員：20名以上立候補者が立候補するとなると観るだけで15分くらいかかるため、制限させていただいている。

岩佐支部局長：環境的に同じ条件で可能であるのか。動画をしたくない方もいるのではないのか。

早川委員：そういう意見もあった。任意にするのかどうか。

廣滋学術局長：選挙に関しては会員への周知が難しい。まず、会員への周知に働きかけた方が良いのではないのか。いくら熱意のある動画を作成しても観てもらわなくては意味がない。低予算で可能であればよい。

永友副会長：動画をアップするのは協会か、県士会か。

秋委員長：県士会である。

永野理事：ホームページも予算が必要である。

西浦会長：思いを伝えたいという提案であることは理解できるが、予算についての試算がないので検討できない。

秋委員長：学会のブースの中だけで動画を流すことはどうか。

永友副会長：パソコンで動画を流すだけであれば予算は必要ないのではないのか。

西浦会長：学会に参加した会員のみが観ることになるのでどうか。投票の広報に力を入れてはどうか。

永野理事：ポスターもそうであるが、全員作成するのであれば印刷の方法や、人によっては10枚作成する方もいれば100枚作成する方も自己予算で行うのか。選挙法では選挙時のポスターなどは届出をしてシールを貼ったものではないと公開できない。広報するにあたりびしゃつとを使用するのであればびしゃつとは2月の末にしかできないでの広報は間に合わないと考える。

西浦会長：予算上では厳しいと考える。従来の予算で検討する。学会での告知は問題ない。ポスターになると話は別になると考える。

早川委員：イメージとしては顔写真と立候補の趣旨を張り出す感じになると考える。

永友副会長：選挙の投票率も含めて会員に意識を高くもってもらい、できるだけ投票してほしいという広報は行っていただきたい。学会時に選挙に関する広報などを貼り、学会に参加した会員に確実に投票をしてもらおうという考えでよいか。

西浦会長：広報はどこになるのか。まずは選挙管理委員会で検討し組織部とで話し合っていただきたい。

永友副会長：選挙広報は選挙管理委員会ではないのか。

西浦会長：選挙管理委員会と組織部で話し合っていただきたい。

2)

岩佐支部局長：メールアドレスの件については県士会のアドレスで良いのか。

永野理事：運用上はどうか。選挙管理委員用のアドレスでよいか。予算がかからずに提案できる方法を検討する。アプリもあるので広報できるように、ホームページ上に掲載するか。選挙の流れをわかりやすいように業者と検討もできる。こちらの方で提案させていただいてよいか。

3)

音地理事：ブースの設営はスペース的には可能であると考えている。

→選挙管理委員と事務局で検討することにより承認

【報告事項】

【会長】

【法人事業】

1. 平成 30 年度組織運営協議会

日 時：平成 30 年 10 月 7 日（日）11：00～16：00

場 所：TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター

議 題：別紙ファイル

出務者：西浦

西浦会長より報告

講習会の参加を推薦する臨床実習指導者を 16 名選出しなければならない。年 6 回 2 日間講義をしていただく。各養成校の教員 1 名ずつを選出する方向でいきたい。詳細については事務局に依頼したい。

山内理事：臨床をされている方も選んだ方が良いのではないか。

西浦会長：臨床されている方も含めるが、まずは養成校側に依頼する。

【事務局長】

【法人事業】

1. 後援名簿一覧（別紙：㉑）

2. 委員推薦者一覧（別紙：㉒）

【事務局】

【公益事業 1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

I. 事業

[総務部]

1. 第 101 回福岡県理学療法士会学術研修大会

日 時：平成 30 年 8 月 19 日（日）7：50～16：00

場 所：アクロス福岡

内 容：会員データの管理、受付業務

出務者：池田、池永、平原、加藤

2. 平成 30 年度管理者研修会（北九州 1 地区）

日 時：平成 30 年 9 月 15 日（土）14：00～17：30

場 所：九州栄養福祉大学

参加者：29 名

出務者：諫武、平原

3. 平成 30 年度管理者研修会（北九州 2 地区）

日 時：平成 30 年 9 月 22 日（土）14：00～17：30

場 所：製鉄記念八幡病院

参加者：38 名

出務者：諫武、池永

〔組織部〕

1. 第 2 回北九州支部研修会託児業務

日 時：平成 30 年 8 月 10 日（金）18：30～21：15

場 所：JCHO 九州病院

内 容：利用児童 1 名

出務者：永野

2. 第 101 回福岡県理学療法士会学術研修大会託児業務

日 時：平成 30 年 8 月 19 日（日）8：30～16：00

場 所：アクロス福岡

内 容：利用児童 9 名

出務者：永野、磯辺、元村、橋本

II. 関係会議

〔組織部〕

1. 第 1 回組織部会議

日 時：平成 30 年 8 月 19 日（日）15：45～16：00

場 所：アクロス福岡

内 容：託児サービスについて

出務者：永野、磯辺、元村、橋本

【公益事業 2 理学療法の知識・技術の普及・啓発を行う事業】

I. 事業

〔組織部〕

1. 託児利用後の利用者アンケート

アンケート結果から FAQ を HP 掲載。

【法人事業】

[総務部]

I. 事業

1. 上半期事業報告および下半期事業計画について（別紙：㉓㉔）

2. 第11回 JIMTEF 災害医療研修会（ベーシックコース）

日 時：平成30年9月22日（土）～23日（日）

（22日；13：00～18：20、23日；9：00～13：00）

場 所：JICA 東京

出務者：加藤

[財務部]

1. 上半期予算執行状況確認作業

収支予算の事業別区分経理の内訳表 作成

（平成30年4月1日～平成30年9月12日）

公益事業三要件

公益事業比率 66.89%

収支相償 20,308,983円（黒字）

2. 交通費削減解除について

9月12日現在にて福岡県理学療法士会の予算執行状況の確認を行った。その結果、収支相償が現時点では大幅な黒字となっている。収支相償は、マイナスである必要があり現状のままでは公益法人認定基準をクリアできない。対応策として、今年より実施していた交通費削減を解除させていただきたいと考える。今後の予算執行状況を踏まえたうえで再度削減の必要性が出てきた場合は、あらためて審議事項として提案させて頂きたい。

諫武財務理事より説明

【学術局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

[研究助成審議会]

1. 研究助成応募1件（9月11日受付）

[学会部]

1. 特別講演講師、講演テーマ、司会について

特別講演1.

講 師：菊池 尚久 先生

（千葉県千葉リハビリテーションセンター 副センター長）

テーマ：「基本的動作能力の回復を図る治療を行うための運動療法

～リハ医から理学療法士に求めるもの～」

司 会：廣滋 恵一 氏（学会長、運動器専門理学療法士、九州栄養福祉大学准教授）

特別講演2.

講 師：庄本 康治 氏（畿央大学大学院健康科学研究科 教授）

テーマ：「エビデンスに基づく物理療法 -新たな物理療法の展開-

司 会：森 聡 氏（物理療法認定理学療法士、飯塚市立病院）

2. 最終演題数報告

合計 77 演題（口述 46 演題、ポスター希望 15 演題、どちらでも 16 演題）

内訳詳細：

（経験年数）5 年以下 36 演題（口述 21、ポスター8、どちらでも 7）

6 年以上 41 演題（口述 25、ポスター7、どちらでも 9）

（希望発表）基礎 12、内部 11、教育 2、物療 3、生活 9、神経 23、運動器 17

3. 学会準備進捗状況 10 月 2 日現在

査読振り分け中

今後、査読→査読結果集約→二次査読→セレクション演題決定

4. イベント増加に伴う会場の追加について

4 階会場を 1 部屋追加で予約。

5. ポスター発表に関して

1 セッション 50 分予定

1 演題（発表 3 分、質疑応答 2 分）×5 人で形式通り実施し、残りの 25 分を自由討議形式とする。演題採択案内時に知らせる。

6. 学会前日宿泊先の手配

西鉄イン福岡アクロス福岡前 15 部屋（禁煙 10 部屋、喫煙 5 部屋）仮予約中。

7. 開会式司会

エントリーサービスプロモーション 泉 やす子 様で手配済み。

8. 次年度県学会開催候補日に関して

第一候補：2020 年 2 月 2 日（日）

第二候補：2020 年 2 月 9 日（日）

現状では両日とも福岡国際会議場の空きあり。

[学術誌編集部]

1. 理学療法福岡 32 号進捗状況

1) 巻頭言：廣滋 恵一 氏（学術局局長）

2) 特集テーマ：スポーツリハビリテーション

梶村 政司 氏：東京オリンピック・パラリンピックに対する日本理学療法士協会の取り組み

野原 英樹 氏：スポーツ障害に対するスポーツリハビリテーション

三浦慶太郎 氏：障がい者に対するスポーツリハビリテーション

3) 講演録：藤縄 理 氏（埼玉県立大学）

井垣 誠 氏（公立豊岡病院日高医療センター）

今屋 健 氏（関東労災病院）

勝木 秀治 氏（関東労災病院）

牧迫飛雄馬 氏（鹿児島大学）

高橋 哲也 氏（順天堂大学）

4) 県学会受賞論文

第 26 回県学会優秀賞：山内 康太 氏（製鉄記念八幡病院）

標題：運動失調を呈する急性期脳卒中の Scale for the Assessment and

Rating of Ataxia による運動失調重症度評価の有用性－退院時転
帰先予測および反応性について－

第 27 回県学会受賞演題は投稿辞退

第 27 回県学会奨励賞：和田あゆみ 氏（JCHO 九州病院）執筆承諾済み

5) 一般投稿論文

（原著）

岡 真一郎 氏（国際医療福祉大学福岡保健医療学部理学療法学科）

標題：臨床実習での情意領域に対する教育効果の関連因子

－診療参加型臨床実習と従来型臨床実習の比較－

査読中：6 件

6) 編集後記：未定

[学術研修部]

1. 第 101 回福岡県理学療法士会学術研修大会について

日 時：平成 30 年 8 月 19 日（日）10：00～15：20（9：00～受付）

場 所：アクロス福岡 国際会議場 大会議室

内 容：

記念講演

テーマ：「Foot Core Stability」

講 師：Jang Jung-Jae 先生（ヌール・バルン運動センター長）

司 会：平川 善之 氏（福岡リハビリテーション病院/福岡リハ整形外科クリニック課長）

特別講演Ⅰ（神経系領域）12：00～13：30

テーマ：「歩行運動の再学習～歩行運動解釈と再学習の理論的背景～」

講 師：大畑 光司 氏（京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻 講師）

司 会：玉利 誠 氏

（福岡国際医療福祉学院・国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 准教授）

特別講演Ⅱ（地域・予防領域）12：00～13：30

テーマ：「地域の中で必要とされる理学療法士像 ～連携のシンカと課題について～」

講 師：竹村 仁 氏（臼杵市医師会立コスモス病院 事務部 事務長）

司 会：竹下 真大 氏（リハビリ訪問看護ステーションすばる 代表取締役）

特別講演Ⅲ（運動器領域）13：50～15：20

テーマ：「肩関節疾患の評価と臨床展開」

講 師：勝木 秀治 氏（関東労災病院 リハビリテーション科 主任）

司 会：宇戸 友樹 氏（麻生リハビリテーション大学校 専任教員）

特別講演Ⅳ（内部障害系領域）13：50～15：20

テーマ：「心腎連関を意識したリスク管理と包括的リハビリテーション」

講 師：斉藤 正和 氏（公益財団法人日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院 理学療法科 科長）

司 会：島添 裕史 氏（製鉄記念八幡病院 リハビリテーション部）

市民公開講座

テーマ：「骨盤底筋ケアで治す！頻尿・尿失禁」

講 師：中島のぶよ 先生（医療法人社団 邦生会 高山病院 泌尿器科医師）

司 会：熊丸 真理 氏（麻生リハビリテーション大学校 専任教員）

参加者：理学療法士：520名（福岡：509、他県：11）、会員外：5名

他職種：4名（医師：1、看護師：1、OT：2）

学生：25名、市民：41名

合計：595名

出務者：長谷川、山口、野元、國友、宇戸

[教育研修部]

1. 第101回福岡県理学療法士会学術研修大会について

日 時：平成30年8月19日（日）10：00～15：20（9：00～受付）

場 所：アクロス福岡 国際会議場 大会議室

内 容：第101回福岡県理学療法士会学術研修大会における新人教育プログラム単位認定
受講者数（単位認定者のみ）

特別講演Ⅰ C-1 神経系疾患の理学療法：138名（受講証明書18名）

特別講演Ⅱ C-5 地域リハビリテーション：26名（受講証明書4名）

特別講演Ⅲ C-2 運動器疾患の理学療法94名（受講証明書19名）

特別講演Ⅳ C-3 内部障害の理学療法47名（受講証明書8名）

出務者：河上、脇坂、嶋邨

II. 関係会議

[学術誌編纂部]

第1回学術誌編纂部会議

日時：平成30年8月2日（金）19：00～21：30

会場：福岡国際医療福祉学院

出務者：佐藤、宮崎、上瀧、梅野、明治、末松、伊藤、古井、（学会部）林田

[学術研修部]

1. 第3回学術研修部Web会議

日 時：平成30年9月18日（火）21：00～23：00

内 容：専門理学療法研修会、2019年度理学療法士講習会

出務者：山口、長谷川、國友、白川、丸山、中野、野元、宇戸

[教育研修部]

1. 第3回教育研修部Web会議

日 時：平成30年9月20日（木）21：00～22：30

内 容：2019年度理学療法士講習会、新人研修会、新生涯学習システム

出務者：嶋邨、岡本、岡、川口、河上、脇坂、宇戸

【社会局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

I. 事業

[職能部]

1. 平成30年度産業理学療法研修会

日 時：平成30年8月26日（日）9：00～12：00

場 所：麻生リハビリテーション大学校

テーマ：「日本における産業（保健）理学療法の現状 ～他学会や現場からの期待と展望～」

講 師：山崎 重人 氏（産業理学療法部門代表運営幹事 マツダ株式会社 マツダ病院
リハビリテーション科 理学療法士長）

司 会：加藤 剛平 氏（独立行政法人労働者健康安全機構 九州労災病院治療就労両立支援センター）

出務者：麻生、吉村（直）、久原

参加者：72名

II. 関係会議

[職能部]

1. 第3回職能部会議

日 時：平成30年9月20日（木）19：00～20：30

場 所：あおぞらの里古賀訪問看護ステーション

内 容：平成30年度訪問リハビリテーション実務者研修会について

出務者：竹下、中島

【公益事業3 理学療法の知識・技術を提供する事業】

I. 事業

[公益事業推進部]

1. その他スポーツ障害予防に対する活動全般事業（バスケットボール）

日 時：平成30年8月4日（土）9：00～11：30

場 所：甘木市立甘木中学校

内 容：中学生に対する障害（傷害）予防指導

利用者：甘木中学校バスケットボール部12名、教員2名

出務者：宇都、三苦

2. その他スポーツ障害予防に対する活動全般事業（バスケットボール）

日 時：平成30年8月5日（日）13：00～15：30

場 所：北九州市立企救中学校

内 容：中学生に対する障害（傷害）予防指導

利用者：企救中学校男子バスケットボール部21名、教員3名

出務者：馬場、藤本、中村、野原

3. 平成30年度第2回障害者スポーツ研修会

日 時：平成30年8月12日（日）10：00～13：00

場 所：博多消防署

テーマ：「BLS研修会」

講 師：博多消防署職員

参加者：3名

出務者：吉井

4. その他スポーツ障害予防に対する活動全般事業（バスケットボール）

日時：平成30年8月19（日）9：00～11：30

場所：福岡市立平尾中学校

内容：中学生に対する障害（傷害）予防指導

利用者：平尾中学校バスケットボール部12名（2年生7名、1年生5名）

雙葉中学校バスケットボール部5名（2年生5名）

教員2名

出務者：森田、上原、村上

5. その他スポーツ障害予防に対する活動全般事業（バスケットボール）

日時：平成30年8月19（日）13：00～15：30

場所：北九州市立中央中学校

内容：中学生に対する障害（傷害）予防指導

利用者：中学校バスケットボール部33名（2年生19名、1年生14名）

教員2名

出務者：川原、馬場、鈴木、中村

6. その他スポーツ障害予防に対する活動全般事業（バスケットボール）

日時：平成30年9月8日（土）9：00～11：30

場所：北九州市立熊西中学校

内容：中学生に対する障害（傷害）予防指導

利用者：中学校バスケットボール部25名（3年生1名、2年生8名、1年生16名）

教員2名

出務者：川原、嶋田

7. 第38回ときめきスポーツ大会

日時：平成30年9月8日（土）9：00～16：00

場所：久留米市総合スポーツセンター

内容：選手のコンディショニング調整

利用者：1名

出武者：久保田、猪口

〔職能部〕

1. 地域医療介護総合確保基金ヒアリング

日時：平成30年9月10日（月）9：30～10：00

場所：福岡県庁

内容：来年度の地域医療介護総合確保基金のヒアリング

出務者：高橋、久原

【支部局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

[福岡支部]

[福岡1地区]

1. 第3回福岡1地区研修会

日 時：平成30年8月24日（金）19：00～21：00

場 所：麻生リハビリテーション大学校

テーマ：「ペループロジェクトから考えるこれからの国際リハビリテーション」

講 師：広田 美江 氏（別府医療センター）

司 会：池田 幸広 氏（福岡リハビリテーション専門学校）

参加者：71名

出務者：有馬、齊藤、友清、平山、市原、寒竹

[福岡2地区]

1. 第2回福岡2地区研修会

日 時：平成30年8月7日（火）19：00～21：00

場 所：博愛会地域リハビリテーションセンター

内 容：「介護の視点から見た呼吸リハビリテーションの現状と課題～呼吸リハの継続を図るために～」

講 師：井上 貴子 氏（介護老人保健施設 松寿苑）

司 会：白石 寿恵 氏（早良病院）

参加者：19名

出務者：中嶋、戸田、相浦、荒木

[福岡東地区]

1. 第3回福岡東地区研修会

日 時：平成30年8月10日（金）19：00～21：00

場 所：水光会 ウェルネスセンター

内 容：「ランニング障害に対する評価と対策」

講 師：吉井 剛 氏（鎌田病院）

司 会：桑原 大輔 氏（笹栗病院）

参加者：69名

出務者：桑原、赤川、石元、石松

[北九州支部]

1. 第2回北九州支部研修会

日 時：平成30年8月10日（金）19：00～21：00

場 所：JCHO九州病院 4階講堂・大会議室

テーマ：合同症例検討会

座 長：鈴木 裕也 氏（製鉄記念八幡病院）

河上 淳一 氏（九州栄養福祉大学）

発表者：北1地区：中村 靖 氏（ワンステップ日明デイサービス）

「屋外歩行が困難な腰部脊柱管狭窄症患者に対する、シルバーカーの使用について」

北1地区：守谷 敏博 氏（ワンステップ日明デイサービス）

「両側変形性膝関節症を呈した利用者に対する趣味再開の試み」

- 北1地区：後藤 功輔 氏（ワンステップリハビリデイサービス）
「腎不全及び両変形性膝関節症を呈した利用者に対する歩行指導について」
- 北1地区：山本 嵩久 氏（ワンステップリハビリデイサービス）
「腎不全で透析を導入し、チアノーゼ症状を呈した症例について」
- 北1地区：江村 克 氏（ワンステップ日明デイサービス）
「脳出血により左片麻痺を呈し歩行時に膝関節の過伸展がみられた一症例」
- 北1地区：前田 勇貴 氏（新小倉病院）
「早期からの運動・栄養介入により身体機能・組成が著しく改善した、飢餓によるサルコペニア患者に対する理学療法の経験」
- 北1地区：中村 遥 氏（東和病院）
「右前十字靭帯断裂を受傷し再建術を施行した症例～歩行効率に着目して～」
- 北1地区：堀江 直矢 氏（松井病院）
「股関節深層筋に着目した理学療法アプローチによりトレンデレンブルグ徴候が軽減した左大腿骨頸部骨折術後症例についての一考察」
- 北2地区：前田 悠介 氏（JCHO九州病院）
「大腿骨人工関節周囲骨折術後、頸椎症性脊髄症に対し椎弓形成術を施行した一症例」
- 北2地区：鳥山 昌起 氏（田原整形外科医院）
「肩関節多方向性不安定症を呈した症例に対する保存療法」
- 北2地区：原山 永世 氏（製鉄記念八幡病院）
「重度 Pusher 現象に対し長下肢装具を用いた立位練習により座位保持能力の改善を認めた1症例」
- 北2地区：内田 博之 氏（製鉄記念八幡病院）
「行動変容を考慮した理学療法介入により身体機能が改善した透析患者症例」
- 北2地区：松本真理子 氏（福岡新水巻病院）
「多発外傷に対する急性期からの理学療法の取り組みー人工呼吸器管理下から歩行獲得までー」
- 筑豊地区：溝上 恭平 氏（村上外科病院）
「胸郭出口症候群に対して第1肋骨切除術を施行したスポーツ選手1症例について」
- 筑豊地区：池之野有香 氏（麻生飯塚病院）
「大動脈弁閉鎖不全症により心不全を呈した症例～病態理解を深め、患者教育に繋げる～」
- 筑豊地区：森 聡 氏（飯塚市立病院）
「橈骨遠位端骨折術後患者に対する末梢神経電気刺激療法の効果
- ABA' デザインによるシングルケーススタディ -」
- 筑豊地区：松本 祐介 氏（飯塚市立病院）
「後縦靭帯骨化症術後、重度麻痺を呈した症例に対する末梢神経電気刺激療法の効果」

参加者：110名（うち学生参加30名）

出務者：山内、兵頭、井上智之、帆足、本田、亀田、井上智博

[北九州1地区]

1. 第3回北九州1地区研修会

日 時：平成 30 年 8 月 16 日（木）19：00～21：00

場 所：北九州リハビリテーション学院

テーマ：「脳卒中における標準的リハビリテーション」

講 師：熊谷 謙一 氏（製鉄記念八幡病院）

司会者：池田 裕一 氏（新行橋病院）

参加者：108 名

出務者：國田、中村、伊藤、藤内

2. 第 4 回北九州 1 地区研修会

日 時：平成 30 年 9 月 13 日（木）19：00～21：00

場 所：九州栄養福祉大学リハビリテーション学部

テーマ：「呼吸器疾患に対する効果的なリハビリテーションのための病態把握のポイントと実践」

講 師：入江 将考 氏（新小倉病院）

司会者：松田 浩昭 氏（リハビリ訪問看護ステーション りふる）

参加者：131 名

出務者：池田、亀田、中村、藤内

[北九州 2 地区]

1. 第 3 回北九州 2 地区研修会

日 時：平成 30 年 8 月 23 日（木）19：00～20：30

場 所：製鉄記念八幡病院

テーマ：「訪問リハの実際と取り組み～安心して住み馴れた場所で自分らしく生きる支援～」

講 師：瀬尾 徹 氏（りはなす訪問看護ステーション）

司 会：緒方 政寿 氏（正和中央病院）

参加者：51 名

出務者：後藤、烏山、立石、曾我部、熊谷

[筑後支部]

1. 第 2 回筑後支部研修会

日 時：平成 30 年 8 月 26 日（日）9：00～12：00

場 所：久留米大学医療センター

テーマ：「ICU における理学療法～早期リハビリテーション実践のために～」

講 師：緒方 孝 氏（聖マリア病院）

司 会：水野 政慶 氏（聖マリア病院）

出務者：綾部、安、西、川原、村山、仲、上瀧

参加者：88 名

II. 関係会議

【支部局】

[福岡東地区]

1. 第 2 回福岡東地区運営会議

日 時：平成 30 年 8 月 22 日 19：00～19：50

場 所：宗像水光会総合病院

出務者：石松、藤井、赤川、樋口、桑原、仁位、山坂、林、花田、石元、中園、川野

[北九州1地区]

1. 第2回北九州1地区会議

日 時：平成30年9月18日（火）19：00～19：45

場 所：九州労災病院

議 題：平成30年9月28日開催の体力測定会（サニーサイドモール小倉）の事前打ち合わせ

出務者：亀田、藤本、徳永、辻、善明、久保、瀧上、濱邊、中川、右田

[筑後支部]

1. 第1回筑後支部会議

日 時：平成30年9月11日（火）19：00～21：00

場 所：朝倉医師会 介護支援センター

テーマ：第3回筑後支部研修会事前会議

出務者：福田、安、村上、綾部、仲

【公益事業2 理学療法の知識・技術の普及・啓発を行う事業】

I. 事業

[福岡支部]

1. リレーフォーライフボランティア

日 時：平成30年9月8日（土）10：00～21：00

平成30年9月9日（日）6：30～12：00

場 所：海の中道海浜公園 光と風の広場

内 容：来場者へのストレッチ、マッサージの提供と募金活動

出務者：遠藤、下川、丸山(ゆ)、山本(高)、園田、松本、有菌、田代、大石、吉村、丸山(千)、大澤、
荒木、吉田、池田、吉原、外、永田、川崎、中玉利、山本(景)、山口、大寫

利用者：147名

[北九州1地区]

1. 体力測定会事前準備

日 時：平成30年9月21日（火）18：00～18：30

場 所：サニーサイドモール小倉店

内 容：体力測定会事前打ち合わせ

出務者：右田、濱邊

2. 体力測定会

日 時：平成30年9月28日（金）10：00～16：00

場 所：サニーサイドモール小倉店

内 容：サニーサイドモール小倉店に来店するお客様を対象とした体力測定会

利用者：85名

出務者：亀田、田鍋、藤本、徳永、辻、奥、善明、久保、瀧上、濱邊、右田、中川

[北九州2地区]

1. 北九州2地区体力測定会（八児小学校）
日 時：平成30年9月11日（火）13：00～16：00
場 所：八児小学校
内 容：理学療法士説明など、障害体験、体力測定
利用者：34名
出務者：12名

II. 関係会議

[福岡東地区]

1. 第1回福岡東地区体力測定会事前打ち合わせ
日 時：平成30年9月8日（土）17：00～18：00
場 所：宗像市三倉公民館
出務者：石松

[北九州2地区]

1. 第3回北九州2地区会議（事前会議9月11日開催「八児小学校」）
日 時：平成30年8月29日（水）18：30～20：00
場 所：東筑病院
内 容：八児小学校体力測定会の説明、物品確認
出務者：上野、山本、青木、山本、中島
2. 第4回北九州2地区会議（事前会議10月8日開催「八幡西区健康まつり」）
日 時：平成30年9月25日（火）18：30～20：00
場 所：東筑病院
内 容：健康祭りにおける体力測定会の説明、開催日時の確認
出務者：原田、森、上野、園田、中島、秋、笠、石川、森本

【法人事業】

[福岡2地区]

1. 福岡2地区運営委員の就任について 橋本 優子 氏（自宅会員）

【地域包括ケア推進局】

【公益事業3 理学療法の知識・技術を提供する事業】

II. 関係会議

1. シルバーリハビリについて福岡県保健医療介護部との話し合い
日 時：平成30年8月7日（火）16：00～17：30
場 所：麻生リハビリテーション大学校
内 容：1）シルバーリハビリについて
2）シルバーリハビリの福岡県の現状について
3）福岡県の介護予防事業の現状について
福岡県保健医療介護部 保健医療介護総務課

企画主幹 諸富 博 様と会議

出務者：松崎

2. 地域医療介護総合確保基金ヒアリング（三士会）

日 時：平成 30 年 9 月 13 日（木）13：00～13：30

場 所：福岡県庁 1 階 特 A 会議室

内 容：福岡県の来年度「地域医療介護総合確保基金ヒアリング（三士会）」のヒアリング
福岡県高齢者地域包括ケア推進課 介護人材係 坂梨 様対応（担当者変更）

出務者：松崎

【各委員会】

[選挙管理委員会]

1. 選挙実施に関して別紙の通り報告する。（別紙：⑳㉑）

- 1) 選挙要綱及び告示の確認
- 2) 役員選挙日程決定の報告

【依頼事項】

【事務局】

【法人事業】

[総務部]

1. 平成 31 年度事業計画作成に向けて

平成 31 年度事業計画の提出をお願いする。（次回理事会にて検討予定）

（提出締め切り：11 月 30 日金曜日）

2. 平成 31 年度新人オリエンテーション日程決め及び会場確保について

支部局：平成 31 年度新人オリエンテーションの日程決め及び会場の確保をよろしくお願いしたい。

3. 養成校意見交換会への出席について

8 月理事会にて承認を得た平成 30 年度養成校意見交換会であるが、別紙の通り詳細な内容が確定したので理事・監事の出席をお願いしたい（別紙：㉒㉓）。

日 時：平成 30 年 11 月 24 日（土）15：00～18：00

場 所：リファレンス駅東ビル（福岡市博多区博多駅東 1 丁目 16-14）

4. WEB 会議システム利用の際の予約スケジュール確認について

先月 WEB 会議システムの予約が重なり会議が開催できないという事例が発生した。

今後のサテライト研修の際の WEB 会議システムの利用など活用が増えてきた場合に備え、会議主催者は WEB 会議を開催する際は、事前に WEB 会議システムの予約状況をホームページ上で確認するようにお願いしたい。

[財務部]

1. 平成 30 年度補正予算の作成について

平成 30 年度下半期が開始されたので、上半期事業予算執行状況および下半期事業計画に基づいて事業

別費用一覧表の作成を行う。よって各部局ごとに補正予算の作成をお願いしたい。

予算書の提出方法は、現在各部局にて入力中の費用実績管理表（実績）に各部局の下半期の予定事業及び予算を入力ののち事業予算提出の際と同様に財務部諫武まで提出をお願いしたい。（締め切り：10月31日水曜日）

2. 平成31年度予算案の作成について

平成31年度事業計画に基づいて予算案の作成をお願いしたい。前回の理事会にてお知らせの通り昨年同様、平成31年度予算作成に関して予算事務折衝を実施する。以下のスケジュールに協力いただきたい。（8月理事会にて連絡済ですが、再度確認のためスケジュール記載いたします）

<平成31年度予算案作成並びに事務折衝について>

<平成31年度予算案作成スケジュール>

平成30年8月18日（土）：平成31年度予算案作成スケジュール説明（済）

↓

平成30年10月27日（土）：平成31年度事業計画に合わせて予算案作成依頼

↓

平成30年11月前半（2週間）：平成31年度予算案について、各部局に対して財務部より過去3年の予算と実績の平均をもとに予算執行可能額について提案実施。

↓

平成30年11月後半（2週間）：事務予算折衝の結果をもとに、平成31年度予算案を各部局にて作成および財務部へ提出。（11月24日締め切り）

平成31年度用事業予算入力用費用実績管理表は、事務所より送信する。

↓

平成30年12月3日（月）～4日（火）：各部局理事と三役・財務予算折衝実施。

↓

平成30年12月15日（土）：平成31年度予算案審議。

↓

平成31年2月理事会：平成31年度予算案確定。

【次回理事会】

日 時：平成30年12月15日（土）14：00～

場 所：麻生リハビリテーション大学校

以上この議事録の内容が正確であることを証明するため、出席した会長、事務局長、ならびに監事は、次の通り署名する。

平成30年10月27日

公益社団法人 福岡県理学療法士会